



2026年2月5日

和光市と東京ガス株式会社のカーボンニュートラルなまちづくりに向けた
包括連携協定の締結について

和光市

東京ガス株式会社

和光市（市長：柴崎 光子）および東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一）は、このたび、カーボンニュートラルなまちづくりに向けた包括連携協定（以下「本協定」）を締結しました。

和光市は2025年3月に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「和光市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めています。

本協定は、こうした取組をさらに促進するものであり、カーボンニュートラルなまちの形成に貢献するとともに、地域の課題解決や更なる魅力創出等、地域の一層の発展を図り、持続可能なまちづくりの実現につなげていきます。



（左から 和光市長：柴崎 光子、東京ガス常務執行役員：小西 雅子）

【連携事項】

- (1) カーボンニュートラルなまちづくりに向けた取組のトータルコーディネートに関する事項
- (2) 低炭素エネルギーの調達と公共施設への供給に関する事項
- (3) エネルギーデータの活用等によるエネルギー利用の最適化に関する事項
- (4) 地域のレジリエンス強化に関する事項

- (5) 地域の目線での新しい価値の創出に関する事項
- (6) 学校等における環境エネルギー教育や食育を通じた啓発活動に関する事項
- (7) カーボンニュートラルなまちづくりに向けた取組における専門的人材の支援強化に関する事項
- (8) カーボンニュートラルなまちづくりに係る新たな価値の創出及び魅力の情報発信に関する事項
- (9) 市内事業者と連携した市域でのカーボンニュートラル推進及び市内事業者の振興に関する事項
- (10) その他住民へのサービス向上、カーボンニュートラルなまちづくりに関する事項

【締結日】

2026年2月5日

【関係者コメント】

◆和光市長 柴崎 光子 コメント

和光市は2025年3月に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「和光市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

このたびの協定の締結で、東京ガスが有するカーボンニュートラルに関する知見をお借りし、緊密な相互連携に基づいた取組を実施できることを大変心強く思っております。

カーボンニュートラルなまちづくりを実現するには、市民、事業者、行政が三位一体となって取組む必要があります。本協定の締結を契機に、東京ガスの持つ豊富な知見を活かしながら、再生可能エネルギーの導入および普及、市域における環境に配慮したエネルギー教育の実施など、「カーボンニュートラルなまち」の形成に向けた様々な取組を検討してまいります。

◆東京ガス株式会社 常務執行役員 地域共創カンパニー長 小西 雅子 コメント

当社は、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム^{*1}構築」ならびに「CO2ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。地域共創カンパニーでは、多くの企業・自治体の皆さんと協業し、「IGNITURE^{*2}」の下で提供するソリューションを通じて、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組を進めています。本協定の締結により、和光市と市民・事業者が相互に協力し、当社グループが創業以来培ってきたお客さまからの「信頼」や、「地域密着力」を活かし、カーボンニュートラルなまちづくりの実現に向けて連携できることを大変嬉しく思っております。

和光市とはこれまででも、カーボンニュートラル関連の情報提供や、環境・省エネ・防災イベントへの出展を通じて連携を深めてまいりました。今後も、和光市との価値共創により、地域課題の解決および持続可能なまちづくりに取組んでまいります。

東京ガスグループは創立140周年を迎えました。東京を越え、ガスを越え、未来を先取りする企業として挑戦を進めてまいります。

(参考) ソリューション事業ブランド「IGNITURE（イグニチャー）」について

IGNITURE

東京ガスは、「ソリューションの本格展開」に向け、2023年11月30日、ソリューション事業ブランド「IGNITURE」を立ち上げました。「IGNITURE」の下で展開するソリューションにより、ご家庭、法人、地域・コミュニティのお客さまが、「最適化による経済性・利便性・効率性向上などでさらに豊かな未来」と、「脱炭素・レジリエンス向上などでサステナブルな生活・事業」を、無理なく両立できます。

*1：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

*2：IGNITURE の詳細は[こちら](#)

以上